

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和6年3月31日  
事業所名: AIAI PLUS 嶋野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	広い部屋では仕切ってそれぞれ集中できる環境を整えている。そうでないこともある。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	2	日によって少ないことがある。タイマーを利用している。病欠で不足した日があった。難しい日がある。	確実に確保できるよう勤務状況を管理に取り組む。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	1	分からない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	2	分からない	周知を行う。
適切な支援 の提供	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	3	分からない。社内監査制度で評価を行っている。	周知を行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	3	研修の案内は時々あるが確保は出来ていない。時間と人が足りない。	機会確保に力を入れていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	2	分からない	周知を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	1	どちらともいえない。分からない。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	2	時間がない。忙しくてできていない。	できる限り時間の確保を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	2	あいた時間に日誌で共有。周知することがあれば職員間での報告を行っている。支援記録を共有している。	全職員に周知できるような方法をとる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	1	時間がない	周知を行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0	1	分からない	周知を行う。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0		・施設長または児童発達支援管理責任者が出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0		・毎日の昼礼時に職員間の情報共有を実施しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0	6	いない。医ケア児はいないが、装具の使用している児童は保護者を通して主治医からの指示を共有頂き支援を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	2	わからない。しているところとしていないところがある。	積極的に実施していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	0	6	わからない。必要に応じておさまの発達状況など書面でお伝えしている。	必要に応じて実施する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	3	わからない。児童発達支援センター利用中の方は保護者を通して連携している。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	0	7		行事を行う際は広く告知を行う。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	2	できる時は施設長がいく。わからない。定例会、交流会などに参加している。	継続して参加する。定例会などの協議内容を職員間で周知する。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	2			
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	1	様々なテーマでフォーラムを開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	月1回発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	3	行事を行う際はお手紙でご案内を配布している。SNSを利用してご案内を行っている。	周知を行う。	
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	1	分からない。	新入社員にも丁寧に周知を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	4	食事の提供はない。おやつや食事の提供はない。	食事の提供はないが、アレルギーを把握し支援中に使用する教員(小麦粘土など)に配慮する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0		